

令和6年2月

海上 訓練

海上警備チーム50名

指導者



白石 康次郎
(海洋冒険家)

実施日

02.09 金

晴れ / 風速10m / 大潮

02.16 金

晴れ / 風速15m / 小潮



TEIKei

基本操船



GPSプロッター



ブリーフィング



チャートワーク

出港前ミーティング

出港前ミーティングで、事前に航行ルートの水深や高さ制限の確認を行い、海上レーダーやGPSプロッターを確認しながら熟練した艇長の指揮の下で操船訓練を行います。

高速航行

航行訓練

航行は、潮流に乗り効率良く目的地へ移動します。

波による衝撃を最小限に抑える為、波や風の影響を考慮し進路を決定します。

隊列航行

曳航訓練

相手の船上にしっかりとロープを投げ、頑丈なボラードなどに固定する。

曳航中は安全な距離を保ち、低速で航行する。また、接近する船にも注意を払い警戒する。



POINT

発進時は、デッドスローでロープの張り具合を確認しながら安全に曳航する。



監視

係留

声をかけ合い、ロープの受け渡しを連携し、速やかにクリート施設に固定します。
潮流や風向きに応じて船体のどこから固定するかを即座に判断します。



POINT

ロープを投げる際は、取り手が受け易いように弧を描きながら取り手より遠くに投げる。

